



平成 30 年 1 月 23 日

各位

株式会社省電舎ホールディングス

代表取締役社長 西島 修

(コード 1711 東証 2 部)

問い合わせ先：管理本部 福本 裕士

(03-6821-0004)

(追加)「丸紅株式会社との業務提携のお知らせ」についての Q & A

平成 29 年 12 月 20 日に開示しました、「丸紅株式会社との業務提携のお知らせ」に関し、数多くの株主・投資家の皆さまからお問い合わせを頂戴しており、いくつか同様のご質問も頂いておりますので、多く頂いているご質問について下記のとおりご回答申し上げます。

記

ご質問		ご回答	
Q 1	自家消費型 EMS (エネルギーマネジメントシステム) の販売価格帯はいくらくらいになりますか？	A 1	お客様の業態、導入する太陽光発電設備の容量、蓄電池導入の有無等によって提案する価格帯が大きく変動しますので、一概には申し上げられませんが、いくつかのサンプルモデルでの価格帯をご提示できるよう、両社で協議、検討を行ってまいります。他社が販売する同様の製品の販売価格も勘案しつつ、お客様に納得頂ける価格をご提示できるようにしたいと考えております。
Q 2	自家消費型 EMS の特徴を簡単に説明してください。	A 2	今回の EMS は、異なるエネルギー源の活用方法を、状況によってコントロールすることによって、施設等のトータルなエネルギーコストを調整していくものです。このような複数のエネルギー源を効率よく活用する手法は、現在の電力供給システムに非常に適しており、今後、大きな需要が見込まれると思います。
Q 3	貴社の従業員数、組織で多くの案件を同時に進めることができるのでしょうか？ 増員の予定はありますか？	A 3	多くの自家消費型 EMS の導入が同時期に成約した場合、現状の当社人員、組織では同時進行できる案件数が限られてしまいま

			<p>すので、社内組織体制及び外部協力会社ネットワークの構築も同時に進めて参る予定でございます。当然、増員も視野に入れ、組織体制の構築を検討しております。</p>
Q 4	丸紅株式会社が製品保証を行うという事ですが、どのような製品でも保証できるのでしょうか？	A 4	<p>当然、丸紅株式会社殿が社内の厳しい精査により保証を行うことが可能であると判断された製品の保証を行うということになります。</p>
Q 5	自家消費型EMSの販売見込数量を教えてください。	A 5	<p>自家消費型EMSの開発を本年3月末までに終了し、来期の期初から営業活動を開始する予定です。このため、現時点で販売見込数量を申し上げることはできませんが、来期計画を策定する上で検討・精査し、来期計画に見込む数量、売上を検討してまいります。来期計画開示時には開示する予定ですので、今しばらくお時間を頂戴したいと思います。</p>
Q 6	リリース文中に「第1弾」と記載されていますが、第2弾、第3弾もあると考えていいのでしょうか？	A 6	<p>リリース文中にも記載させて頂いたようにAIを利用したEMSも検討しておりますし、その他にも日進月歩のエネルギー業界ですから、今後、革新的な新しい技術、製品が世に出てくることも十分に考えられます。お客さまのニーズに合わせたさまざまなEMSをご提案できるよう事業を推進して参りますので、時期を明確には申し上げることは難しいですが、第2弾、第3弾も開発、販売していく予定です。</p>

以上、現時点で数多くお問い合わせ頂いてるご質問に対してご回答申し上げます。

今回の丸紅株式会社と当社子会社 株式会社省電舎の業務提携による『自家消費型EMS』は、両社が保有するノウハウを結集し、お客さまに「安心」で「経済的」なEMSの提供を目指しております。

今後も、上記ご質問のほかにも同様のご質問が多く株主・投資家の皆さまからお寄せ頂いた場合は、Q&Aを追加してお知らせさせていただきますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上